

第9回辻堂まちづくり会議報告

(開催日時) 2019年(令和元年)12月19日(木) 13:30~15:50

(開催場所) 辻堂市民センター 第1談話室

(出席者) 18人

(欠席者) 國弘副会長、松本委員、山田委員、小林委員、村瀬委員、木幡委員

(傍聴者) 3人

- (議題等)
- 1 辻堂地区全体集会の実施結果について
 - 2 部会等からの報告について
 - 3 次期の辻堂まちづくり会議について
 - 4 その他

◎ 前回議事録の確認について

資料をもとに確認を行った。

◎ 自歩道愛称募集結果について

神奈川新聞の新聞記事を確認した。

◎ 出張公民館について

町内会館や市民の家等で公民館事業・サークル活動を実施する出生公民館について、事務局から周知を行った。

◎ 「郷土づくり推進会議」の運用の手引き(案)について

前回会議で事務局から説明があった件だが、意見等はなかった。

議 題

1 辻堂地区全体集会の実施結果について

吉田委員から資料に沿って実施結果の報告が行われた。

- ・アンケート結果を確認して、来月の全体会議内で詳しい話し合いを行いたい。
- ・配布資料が足りないというのは、まちづくりの説明資料が無いところだと思う。

<来年度に向けて>

資料に沿って、気づいた点の説明が行われた。

<参加委員の意見>

今回の全体集会の流れ全体について

・決められた時間の中で、これだけのボリュームを持ってやるのは厳しかった。今回のパネルディスカッションやワークショップを同時に行っていくには、午前・午後に分けて実施したり、日分けて実施せざるを得ない。しかし、時間の都合上困難であるので、その矛盾を考えなければならない。

・全体集会の目的は「活動報告」「課題の吸い上げ」ということなので、そこをもう少し考えなければならない。

・全体会議の参加者は、行政の動きが知りたい・辻堂地区固有の問題が知りたいという人がくるのではないかと。今回はボトムアップで意見を吸い上げようとしたが、時間が短かった。

今回はボトムアップした意見を行政に流すことが出来ているのか、が見えてこない。

2 各部会からの報告について

広報委員会：資料のとおり報告が行われた。（事務局）

・まちづくりだより Vol.10 について、記載内容等を各部会でも整理してほしい。来年3月に配布をするので、1月の部会内で文言を見てほしい。2月の部会でも文言の変更は可能となる。

＜意見等＞

・今は実施結果を多く載っているが、報告はもっと小さくしても良いのではないか。全体会議に結果により、今後どうしていくか、どのような課題があるか、という事を多く載せた方が良い。報告はほとんどなくても良い。まちづくりだよりは来年以降のことを載せていくべきだろう。

→ 活動報告を全く書かないのは良くない。しかし、実施結果のみでなく、そこに至った課題や経過も書いていきたい。

くらし安心・安全部会：資料のとおり報告が行われた。（石井部会長）

・部会からグリーン回廊ウォーキングについて、資料のとおり実施提案が行われた。

＜質問・意見等＞

・子ども見守り事業の資料を事前にほしい。（小川委員）→なるべく早く作成する。

・ウォーキングについて、青少年会館から10人、老人クラブから10人、公民館20人、を考えているが、そのほかまちづくり委員の皆様に1人ずつ呼んできてほしい。合計50人を目指しているので、必ずお声かけいただけるようお願いいたします。

辻堂交流部会：資料のとおり報告が行われた。（関岡委員）

＜質問・意見等＞

「オリンピック関連事業」について

・元オリンピック競技者がくると、セキュリティの問題があると書いてあるが、どういうことか。

→ 当初一般参加者も募ることを考えていたが、一般参加者を募ると来場者全員の素性を調べなければならなくなる。そのような意味でのセキュリティである。

・中学生のみ対象等といった敷居を狭めるのではなく、住民みんなに参加してもらえるようにやり方を変えていくべきではないか。

→ 他の中学生も対象にしていくべきではないか。湘洋中や高浜中のみでなく、明治中（八松小）等の子ども達も対象にしたい。八松小や辻堂地区の明治中の子ども達は、辻堂地区にも明治地区にも入れないことが多い。

・まちづくり会議で実施する講演会であるため、多くの住民が聞ける形式を取るべきだろう。

・数年前に青少協で講演会を実施したときは、一般の方も受け入れていた。セキュリティの問題に過敏になりすぎなのではないか。

・土日に実施するということも考えたが、多くの集客が見込めない。そこで各学校の授業内で実施することにより、多くの子ども達に参加してもらえるのではないかと考え、各学校で実施する方向で進めていた。

・一つの学校を対象にするのであれば、まちづくり会議で実施する必要はないのではないか。

・全ての学区の子ども達を対象にするのであれば、事前申込等で講演会を実施すればよいのでは

ないか。

- ・中学校で講演会を実施し、かつ地区住民向けのオリンピック関連事業を他に実施すれば、よいのではないか。例えば、辻堂の定食屋さんに「ヨット定食」を作ってもらうなど。地区全体で大きな事業を実施すれば、平等性は保たれるのではないか。

→オリンピック関連事業は、まだ話し合いを始めたばかりである。何かをやりたいということで、講演会を提案したので、他に案があればどんどん言ってほしい。

- ・小学校高学年にも声をかけ、合同で実施してもよいのではないか。

→ 小学校も話に挙がったが、授業の関係で中学校の方が実施しやすいとのことだったので、中学校を中心に話を進めてきた。今回の提案をもとに、小学校での実施についても考えたい。

- ・最終的に学校行事になってしまっても、まちづくり会議が事業提案をして実施したものであれば、会議としての目的から外れてはいないのではないか。

＜結果＞

上記意見等を踏まえ、再度交流部会で企画案を検討することとなった。

3 次期のまちづくり会議について

(1) 辻堂地区郷土づくり推進会運営要領の一部改正について

- ・事務局から説明が行われた。

ボランティアセンターから推薦委員としてCSW北野さんを推薦したい。

ボランティアセンターについて、辻堂地区の代表関口氏から説明が行われた。

(2) 委員選考委員会、公募委員募集及び公募委員選考に関する要領について

- ・事務局から説明が行われた。

＜質問・意見等＞

- ・選考委員のメンバーについて、海浜公園の園長は何故選定されたのか。

→ 選考委員については、「会議の代表」「地域団体の代表」「学校の先生」「センター長」「地区団体等に属さない方」の5人となる。

→海浜公園の園長はまちづくり会議について、知っているのか。

→海浜公園まつり等で関係はあるので、存在自体は知っていると思う。

- ・いきいきサポートセンターやCSWは仕事として参加するのか。専門性が高い方々だが、福祉以外の部門についても参加してもらえるのか。

→仕事としてくるのかどうかは各団体に任せている。しかし参加する場合は、他の委員と同様に全体会議や部会等に出てもらうことになる。

＜結果＞

運営要領の一部改正、委員選考等の要領ともに事務局（案）で確認された。

4 その他

(1) みんなで美化キャンペーン

(2) 子どもの見守りに関する情報交換会

◎今後の予定

- 下記のとおり、全体会議・部会等を開催すること決定した。

会議名：第10回辻堂まちづくり会議 全体会議

日 時：1月23日（木）午後1時30分～午後3時30分頃

場 所：辻堂市民センター 第1談話室

議 題：各部会からの報告 等

会議名：辻堂交流部会

日 時：1月16日（木）午後2時～午後4時頃

場 所：辻堂市民センター

議 題：事業の検討 等

会議名：くらし安心・安全部会

日 時：1月16日（木）午後1時30分～午後3時30分頃

場 所：辻堂市民センター

議 題：事業の検討 等

会議名：広報委員会

日 時：1月16日（木）午前9時30分～午前11時30分頃

場 所：辻堂市民センター

議 題：事業の検討 等

以 上